

平成17年8月31日

予算執行実績の概算要求書への反映について

環境省

当省では、18年度概算要求に当たり、予算積算と執行実績の乖離していた事業について見直し作業を行い、18年度概算要求に適切な反映を行った。

主な事例と反映状況は以下のとおりである。

1. 浄化槽行政推進費 [請負事業] (17年度予算額2百万円)
(浄化槽に関し、アンケート調査を実施し、その結果を評価分析するための経費)
平成14年度以降執行実績がない状況が継続。
(反映状況) 18年度概算要求を行わないこととした。
2. 自動車排出ガス許容限度設定調査における試料分析費 [委託事業]
(17年度予算額1百万円)
平成14年度以降執行実績がない状況が継続。
(反映状況) 18年度概算要求を行わないこととした。
3. 生活排水対策実態調査 [委託事業] (17年度予算額3百万円)
(住民の生活排水対策に関する実践活動の効果を把握する調査を行うための経費)
平成14年度以降執行実績がない状況が継続。
(反映状況) 18年度概算要求を行わないこととした。
4. 環境月間年報印刷費、広報用ビデオ制作費等 (平成17年度予算額3百万円)
環境月間年報印刷費、広報用ビデオ制作費等として予算計上したものを、予算計上していない環境省パンフレット印刷費として執行。
16年度予算額3百万円、実績7百万円
(反映状況) 執行の実態にあわせて要求内容を見直し。
5. 環境影響評価追跡調査 [請負事業] (平成17年度予算額8百万円)
環境影響評価の再実施の必要性等について検討するための経費として予算計上したものを、予算計上していない具体的環境保全措置の効果及び問題点についての調査費として執行。
16年度予算額8百万円、実績6百万円
(反映状況) 執行の実態にあわせて要求内容を見直し (環境影響評価の再実施の必要性等の検討を行う環境影響評価追跡調査と予測結果再評価審査事業を一括して「環境影響評価フォローアップ事業費」として要求。)

6. 循環基本計画の数値目標達成状況調査 [請負事業] (17年度予算額 16百万円)
平成 16年度において、執行実績に比して予算額が過大。
16年度予算額 22百万円、実績 10百万円
(反映状況) 執行実績を踏まえ、18年度要求額を 17年度予算額から減額し、
11百万円を要求。
7. 循環型社会形成総合情報収集・集積システム構築事業費
(17年度予算額 27百万円)
平成 16年度において、執行実績に比して予算額が過大。
16年度予算額 27百万円、実績 8百万円
(反映状況) 執行実績を踏まえ、18年度要求額を 17年度予算額から減額し、
7百万円を要求。
8. 大気環境基礎調査 [委託事業] (17年度予算 4百万円)
(「 公害健康被害補償法 」 旧第 1 種指定地域の大气汚染の推移状況を把握するための経費)
平成 16年度において、執行実績に比して予算額が過大。
16年度予算額 5百万円、実績 2百万円
(反映状況) 執行実績を踏まえ、18年度要求額を 17年度予算額から減額し、
2百万円を要求。